

米国 総合インフレの上ぶれは消費とコアインフレを抑制(08年7月消費者物価)

発表日：2008年8月14日（木）

～インフレの上ぶれもF R Bは景気失速懸念から様子見姿勢継続～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

03-5221-5001

○7月の消費者物価（総合）はエネルギーの伸びが減速したこと等によって前月比+0.8%と鈍化したものの市場予想の同+0.4%を上回った。食品価格が同+0.9%（前月同+0.8%）と加速したが、エネルギー価格が同+4.0%（同+6.6%）と鈍化した。食品では、小麦・パン、肉・魚・卵、アルコール・ノンアルコール飲料等が上昇ペースを速めた。エネルギーではガス・電力が同+4.0%（同+1.5%）と加速したものの、燃料油が同+1.3%（同+8.5%）、ガソリン価格が同+4.1%（同+10.1%）と減速した。

○エネルギー・食品を除く消費者物価（コア）は前月比+0.327%と市場予想の同+0.2%を上回った。6ヵ月前対比年率では+2.3%と変わらずとなったものの、3ヵ月前対比年率では+3.5%と加速しており、コアインフレの上昇モメンタムは強まった。

○財・サービス別では、財価格（コア）が加速した一方、サービス（コア）の上昇ペースは鈍化した。財では医薬品が下落したものの、女性用衣料、靴など衣料品や、自動車が増速したため財価格（コア）は前月比+0.5%と加速した。サービスでは、娯楽、個人向けケアサービスが増速したが、帰属家賃、家賃、医療サービスの減速によってサービス価格（コア）は前月比+0.3%と小幅鈍化した。

○各種の消費者段階での物価動向を前年比で見ると、総合が+5.6%（前月+5.0%）と急加速したが、コアは+2.51%（同+2.41%）と小幅の加速となった。より実態の物価動向を示す連鎖C P I コアも+2.21%（同+2.09%）と小幅加速にとどまった。ただし、コアインフレはF R Bが物価安定と判断しているレンジの上限を上回っていること、エネルギー・原材料・食品価格動向の不透明感が残存していることなどから、F R Bはインフレへの警戒を維持しよう。一方で、長期の期待インフレ率はまだ落ち着いていること、短期の期待インフレ率は低下していること、金融市場でのストレスの残存、エネルギー価格の上昇、住宅価格の下落等によって経済成長見通しにかなりの下ぶれリスクがあるとF R Bは判断していることから、当面政策金利を据え置くと予想される。

○今後に関しては、エネルギー・原材料価格は高止まりする可能性が高い。しかし、賃金の上昇ペース鈍化、労働生産性の改善によって、U L C（単位労働費用）は緩やかな伸びにとどまろう。加えて、価格動向に大きな影響を与える競争環境では米国内需要が資産価格の下落、エネルギー・食品価格の上昇持続を背景に鈍化する一方で、世界的な供給能力の拡大が続くため、より厳しい価格競争にさらされ続けよう。

このような環境では、原材料価格などのコストが増しても価格転嫁率は低い水準に抑制され、財価格（コア）は緩やかな上昇にとどまると予想される。サービスでは高齢化による医療サービス価格の高止まりが続くとみられる。ただし、帰属家賃の伸びが賃料の鈍化に加えて、控除要因となるエネルギー価格の高い伸びによって抑制されるとみられ、サービス価格の急上昇は回避されよう。以上のことを勘案すると、年内のC P I コアは前年比+2%台半ば、P C E コアデフレーターは同+2%台前半での推移が予想される。

消費者物価 (Consumer Price Index)

	消費者物価		コア		エネルギー	食品	住宅	アパレル	運輸	医療	商品 コア	サービス コア
	総合											
08/01	+0.4	(+4.3)	+0.311	(+2.47)	+0.7	+0.7	+0.2	+0.4	+0.5	+0.5	+0.2	+0.4
08/02	+0.0	(+4.0)	+0.040	(+2.27)	▲0.5	+0.4	+0.2	▲0.3	▲0.7	+0.1	▲0.1	+0.1
08/03	+0.3	(+4.0)	+0.152	(+2.35)	+1.9	+0.2	+0.4	▲1.3	+0.7	+0.1	▲0.1	+0.2
08/04	+0.2	(+3.9)	+0.104	(+2.26)	▲0.0	+0.9	+0.3	+0.5	▲0.7	+0.2	+0.0	+0.1
08/05	+0.6	(+4.2)	+0.202	(+2.31)	+4.4	+0.3	+0.5	▲0.3	+2.0	+0.2	▲0.1	+0.3
08/06	+1.1	(+5.0)	+0.323	(+2.41)	+6.6	+0.7	+0.5	+0.1	+3.8	+0.2	+0.1	+0.4
08/07	+0.8	(+5.6)	+0.327	(+2.51)	+4.0	+0.9	+0.6	+1.2	+1.7	+0.1	+0.5	+0.3

(出所) 労働省

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

